

横浜市福祉サービス第三者評価
評価結果報告書
太陽の子 長津田北保育園
平成 29 年 1 月

評価実施機関

特定非営利活動法人

よこはま地域福祉研究センター

目 次

実施概要.....	1
評価結果についての講評.....	2
分類別評価結果.....	4
評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重.....	4
評価領域Ⅱ サービスの実施内容.....	7
評価領域Ⅲ 地域支援機能.....	11
評価領域Ⅳ 開かれた運営.....	12
評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上.....	13
評価領域Ⅵ 経営管理.....	14
利用者家族アンケート分析.....	15
利用者本人調査.....	19
事業者コメント.....	22

◆ 実施概要 ◆

事業所名	太陽の子 長津田北保育園	
報告書作成日	平成28年12月 1日	(評価に要した期間4ヶ月間)
評価機関	特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター	

*評価方法

1. 自己評価	【実施期間：平成28年7月25日～9月23日】 ・スタッフ会議で説明後、職員全員が取り組んだ。 ・個々で記入した評価票を基にグループで意見交換を行い、園長と主任で話し合い、まとめた。
2. 利用者家族 アンケート調査	【実施期間：平成28年9月12日～9月26日】 配 付：全園児の保護者（50家族）に対して、園から手渡しした。 回 収：保護者より評価機関に直接返送してもらった。
3. 訪問実地調査	【実施日：平成28年11月9日、11月11日】 ■第1日目 午 前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午 後：書類調査／事業者面接調査（園長） ■第2日目 午 前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午 後：職員ヒアリング調査 (主任・リーダー保育士2名・非常勤保育士1名・新入保育士1名・栄養士1名) 事業者面接調査（園長）
4. 利用者本人調査	【実施日：平成28年11月9日、11月11日】 ・訪問実地調査の両日とも各クラスの午前中の保育時間を中心に、食事、排せつ、午睡の状況、登降園の様子等を観察。 ・乳児については主に観察調査、幼児については観察と食事の時間等に適宜聞き取り調査を実施。

◆ 評価結果についての講評 ◆

【施設の概要】

太陽の子長津田北保育園は、JR 横浜線、東急田園都市線「長津田駅」から5分ほど歩いたところにあります。平成26年（2014年）4月に長谷川キッズライフ株式会社により開設されました。交通に便利でありながら、周囲には公園があり、恩田川の遊歩道で水鳥や辺りに広がる畑を見ることができるなど自然環境に恵まれた立地となっています。

園は1階に0、1、2歳児保育室、沐浴室、調乳室、温水シャワー、乳幼児用トイレが2ヶ所、調理室、事務室兼医務室があります。2階は3、4、5歳児保育室、幼児用トイレが2ヶ所、多機能トイレがあり、4、5歳児保育室はスライドドアを外して広く使うことができます。広い園庭では、子どもたちが遊んだり、走り回ったりして体を動かしています。

定員は66人です。延長保育、一時保育を実施しており、開園時間は、平日7時30分～20時00分、土曜日は7時30分～18時30分です。

保育理念は「のびのび すくすく にこにこ 保護者・地域・保育園が手を取り合い、笑顔で見守るなか、子どもたちは、たくさんの“大好き”に出会い、こころとからだをすこやかに育てゆきます。」と定め、理念を基に保育目標を「・個性をのびのびと発揮する子ども ・たくさんの“好き”を見つけ、すくすくと育つ子ども ・“違う”を楽しみ、友達とつながる子ども」としています。また、保育方針を「・安心できる人間関係の中で、一人ひとりの違いを認め合いながら生活します ・整った保育環境の中で、仲間と喜びのある生活をし、自らルールを発見し社会性を育みます ・様々な経験や人との関わりの中で、自ら好きなものを発見し、健全な心身の発達を図ります ・いろいろな違いを体験する中で、広い視野をもった子どもを育てます ・保護者・地域・保育者みんなで感動をわかち合い、子どもの成長と一緒に笑顔で見守ります」としています。

1. 高く評価できる点

●子どもたちは職員に見守られ、自主性を育み、生き生きと園生活を楽しんでいます

朝の合同保育が終わると、幼児はそれぞれのロッカーからカバンを出して、朝の支度を始めます。コップ・歯ブラシを所定の場所に置き、手拭きタオルをフックにかけ、ハンカチはポケットに、着替えをゴムで止めて箱に入れ、ビニール袋をロッカーのフックにかけるなどの支度を子どもたちは毎朝自分でしています。園では、子どもたちが年齢に応じて、身の回りのことなどを自分でできるよう援助し、自主性や社会性を育むよう見守っています。1歳児クラスでは靴を履かせようとする「自分で！」と、自分で履く子どもや、保育士に靴の左右の間違いを教えてもらおうと、自分で履き直す子どもの姿がみられました。2歳児クラスではワゴンまでおやつを自分で取りに行き、食べ終わると使ったタオルとエプロンをクルクルと巻いて片付けます。5歳児の給食当番は、時間になると自主的に帽子、エプロン、マスクを身につけ、当番表を使って、担当を自分たちで決め、ご飯、主菜、汁物、デザートと分担して器によそっています。

このように、子どもたちは自分でできることに挑戦して、少しずつできることを増やし、生き生きと園生活を楽しんでいます。保育士は、子どもの自立をゆっくり見守り、できない所を手助けし、できたときは一緒に喜ぶなど子どものやる気を引き出しています。

●職員間の良好な連携が保育を豊かにしています

職員は、積極的に研修に参加し、報告書を作成・回覧するとともにスタッフ会議等で報告しています。また、受講した職員が担当となり園内研修を実施しています。

保育室の環境構成をテーマにした研修から手作りおもちゃを取り上げ、職員間で話し合いをおこない、ボタンをはめて連結する列車など手先を使うおもちゃやごっこ遊びの布製の食べ物など制作しました。廃材を利用して作った間仕切り用のZ型の柵は、上部に線路が描かれ、子どもたちが楽しそうに電車を走らせている姿が見られました。このように職員間の良好な連携で研修の成果が保育に活かされています。

園では毎月給食の献立に世界の料理と郷土食を取り入れています。(例えば「イタリア」を紹介するときの副菜はチキンカチャトーラ、おやつはボンボローニ・「福岡」を紹介するときにはかしわ飯、がめ煮、おやつはぎすけなど) 栄養士は保護者に故郷の料理を聞いて調べるなど献立作りに取り組んでいます。

子どもたちが各国の料理や日本の郷土料理を知る良い機会となっていて、さらには世界地図や国旗に子どもたちの興味が広がっています。5歳児クラスの壁新聞づくりでは、ブラジルについて調べ、地図や料理の絵を描くなど保育活動につなげています。食育では、子どもたちの年齢に応じて野菜の皮むきやクッキー、お団子作りなどのクッキングを取り入れていて、内容や手順等保育士と栄養士が話し合い、連携しておこなっています。また、離乳食の進め方やアレルギーの対応などについては、クラス担任と栄養士と一緒に保護者と面談をおこない、話し合いながら実施しています。

このように、職員はそれぞれの知識を活かし、職種間で連携して園の保育理念の実現を目指してチーム保育に取り組んでいます。

2. 独自に取り組んでいる点

●子どもたちの年齢にあわせたカリキュラムを活動に取り入れています

園の運営会社では、知性を育み、運動能力を高めるとしてさまざまなカリキュラムが策定されています。子ども英語『ふぁんぱりん』では0歳児から5歳児のクラスごとに楽しく遊びながら英会話に触れています。このほか、5歳児クラスはこのほかに、プログラムに沿った英会話の時間があります。音楽関連会社と提携した『ダンスプログラム』ではプロダンサーによる子どもの発達に合わせたダンスレッスンを体験し、『おそうじチャレンジ』ではおそうじの意味や方法を教わりながら、実際に友達と一緒に塵取りとほうきを使って掃除を体験します。

また、運営会社では『絵本プロジェクト、巡回としょかん』と称して新刊の絵本を6週間毎に系列園全園に巡回する取組をおこなっています。園では絵本のコーナーの前にマットを敷くなど、子どもたちがいつでも絵本を読むことができるよう環境づくりに配慮しています。

3. 工夫・改善が望まれる点

●さらなる地域子育て支援への取組が期待されます


園は自治会に加入し、自治会の夏祭りに子どもたちと一緒に参加したり、保育士は散歩で会った地域の人と挨拶を交わすなど地域に親しむように努めています。また、見学者からの育児相談を受けるなど、地域の子育て支援ニーズを把握するよう心がけています。


今後はさらに定期的な育児相談や園庭開放を設定・周知し、子どもの病気や子育てに関する情報を地域に提供していくとともに、今後は保育園が培ってきた育児に関する豊富な知識や経験を活かして離乳食などの講習会を開催したり、園にある豊富な絵本を読む機会を提供したりするなど子育て支援の取組が期待されます。


◆ 分類別評価結果 ◆


3つ：高い水準にある / 2つ：一定の水準にある / 1つ：改善すべき点がある


評価領域 I 利用者（子ども本人）の尊重


評価分類 I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> ・保育の理念は「のびのび すくすく にこにこ 保護者・地域・保育園が手を取り合い、笑顔で見守るなか、子どもたちは、たくさんの“大好き”に出会い、こころとからだをすこやかに育てゆきま す。」と定めています。保育目標を「・個性をのびのびと発揮する子ども ・たくさんの“好き”を見つけ、すくすくと育つ子ども ・“違う”を楽しみ、友達とつながる子ども」としています。保育方針を「・安心できる人間関係の中で、一人ひとりの違いを認め合いながら生活します ・整った保育環境の中で、仲間と喜びのある生活をし、自らルールを発見し社会性を育みます ・様々な経験や人との関わりの中で、自ら好きなものを発見し、健全な心身の発達を図ります ・いろいろな違いを体験する中で、広い視野をもった子どもを育てます ・保護者・地域・保育者みんなで感動をわかち合い、子どもの成長と一緒に笑顔で見守ります」として、子ども本人を尊重したものとなっています。 ・園のしおり、パンフレットに保育理念を掲載しています。入職時に運営会社の研修で学ぶと共に、園のしおりに基づき、年度末に全職員で読み合わせをして確認する機会を持っています。また、保育士が毎日記録する書類の入った「日誌ボックス」に保育課程、年間計画書を入れて職員がいつでも保育理念や方針を見て確認できるようにしています。 ・保育課程は子どもの発達に沿って、養護、教育、食育などの項目ごとに作成されていて、子どもの最善の利益を第一義にし、家庭の状況や自然に恵まれた環境などを考慮に入れて作成されています。 ・保育課程に基づき、年齢ごとに養護と教育の各項目に沿って、一年を四期に分けた年間指導計画と月間指導計画を作成しています。 ・言葉で伝えられない子どもは表情やしぐさから子どもの意向を汲み取っています。幼児は一人一人が自分の意思を言葉で表現できるよう、子どもの声を引き出すよう配慮しています。子どもの意見や意思を指導計画の見直しに活かし、子どもの自主性を育てるよう計画には柔軟性を持たせています。 	

評価分類 I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> ・面接前に児童票などの書類に記入してもらい、入園説明会で保護者と面接をしています。入園までの生育歴や家庭状況は書類で把握するとともに、面接時に子どもの生育歴や家庭での状況を聞いています。把握された子どもの生育歴などの情報は職員が共有していて、保育に活かしています。 ・0、1、2歳児については、所定の複写式連絡帳を使用し、毎日の子どもの様子について保護者と丁寧な連絡を心掛け、保護者も家庭での様子を記入し相互に理解を深めています。3歳児以上のクラスも全員が連絡帳を持ち、必要に応じて連絡を取り合っています。 ・月間指導計画や個別指導計画は年齢ごとに、ねらいや援助、配慮とともに評価が記入され、子どもの発達や状況に応じて評価・見直しをおこない、次の計画に反映されるよう作成しています。指導計画の評価、改訂にあたっては、送迎時に保護者から意見を聞いたり、連絡ノートを用いて保護者の意向を把握し、計画に反映させるよう心掛けています。 	


評価分類 I-3 快適な施設環境の確保	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> •「保健衛生マニュアル」に基づいて毎日清掃がおこなわれ、園内外は清潔に保たれています。通風・換気等が適切におこなわれています。各保育室の掛け時計に温度、湿度が表示され、温・湿度はエアコン、加湿器を使用して適切に管理しています。 •園の1階に沐浴室があります。沐浴設備・温水シャワーは使用時の清掃のほか、定期的に清掃をおこなっています。 •食べること、寝ることを同じ部屋でしていますが、給食を食べたあと、別の場所に移って遊んだり、保育士が読み聞かせをなどをしている間に別の保育士が床を丁寧に拭き、0、1歳児は布団、2、3、4、5歳児はコット（簡易ベット）を敷いて午睡に入っています。 •朝夕の合同保育など日常的に異年齢交流の場があります。また、4、5歳児保育室の仕切りを取ってホールのように大きくなった部屋でおこなわれる行事や誕生会には全園児が参加し、交流しています。年度末には2歳児が3歳児を訪問して一緒に過ごします。 	


評価分類 I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> •0、1、2歳児については、子どもの生育歴や心身の発達を考慮して、個別指導計画を作成しています。個別の指導計画は、クラス担任同士で一人一人の子どもについて話し合い、子どもの発達状況に合わせて柔軟に対応しています。個別指導計画の作成、見直しについては、保護者と話し合いをおこなって個別指導計画に保護者の意向を反映しています。離乳食の進め方などは栄養士を交えて話し合いをして、保護者の同意を得ています。 •子どもや家庭の個別の状況・要望は、児童票、児童健康台帳、個別指導計画など、定められた書式に記録しています。入園後の子どもの保育経過記録として、個人別ファイルに記録しています。重要な申し送り事項は記録し、進級時に担任が次の担任に伝達し、話し合いの時間を持っています。 	


<p>評価分類 I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p>	<p>評価結果</p> <p style="text-align: center;"></p>
<ul style="list-style-type: none"> • 特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢があります。特に配慮を要する子どもの個別のケースについては、幼児会議やスタッフ会議で、話し合い、個別の記録に反映させています。外部研修に参加した職員は、スタッフ会議で報告をし、研修報告書を回覧して共有するとともに保育に活かすようにしています。 • 園は玄関から床がフラットで段差が無く、バリアフリーの構造になっており、エレベーターと多機能トイレを設置しています。保護者と話し合い、同意を得て、横浜市北部地域療養センターの巡回相談で助言や情報を受け、連携する体制を取っています。園内研修をも実施し、全職員で学習し、話し合える体制になっています。 • 虐待の外部研修に参加した職員が会議で報告し、全職員に周知しています。虐待について話し合う地域連絡協議会に参加して情報を得て、関係機関と連携が取れるよう心掛けています。虐待が明白になった場合は、緑区こども家庭支援課などの関係機関に迅速に通告・相談するなどの体制を整えています。家庭支援の必要な家庭については、会議や打ち合わせで情報共有し、子どもや保護者の様子を見守る体制ができています。 • アレルギー疾患のある子どもへの対応は、かかりつけ医の指示を受け、適切な対応をしています。食物アレルギーについては、医師の「生活管理指導表」を提出してもらい、保護者と栄養士、保育士と連携を密にして除去食を提供しています。除去食を提供する場合は、誤食事故を防止するため、顔写真付きの食札や専用トレイを使用し、複数の職員が確認をして、担任が配膳をしています。 • 外国籍など文化の異なる子どもに対しては、文化や生活習慣の違いを尊重して対応しています。園の給食献立に毎月1回、世界の料理と日本の郷土料理の日を設け、子どもたちが給食室前の世界地図を見て国を確認したり、国旗をカードで覚えて楽しんでいます。また、5歳児クラスの子どもが書いた新聞「ぶらじるってどこにあるの(国旗、料理など)」が玄関に掲示されるなど、子どもたちが生活習慣の違いを理解できるよう配慮しています。 	


<p>評価分類 I-6 苦情解決体制</p>	<p>評価結果</p> <p style="text-align: center;"></p>
<ul style="list-style-type: none"> • 苦情受付について記載されている「入園のしおり(重要事項説明書)」が保護者に配布され、入園説明等で説明しています。要望・苦情受付担当者は主任、苦情解決責任者は園長としています。民生委員2名が第三者委員に決まっています。直接苦情を申し立てることができます。年2回の懇談会や各クラスから選出された委員が参加する運営委員会、行事後のアンケートなどで保護者の意見や要望を聞いています。玄関には意見箱を設置しています。 • 要望や苦情を受け付け対応するための仕組みはマニュアルとして文書化され、第三者委員を交えて対応する仕組みは、文書に明記されています。 • 過去の苦情・トラブルや要望は、「苦情受付記録・報告書」に記録し、蓄積・整理して解決に活かされています。 • 外部の苦情解決窓口として、「市区町村の苦情対応窓口」と保護者に紹介していますが、具体的な名称および連絡先の明記がありませんので、今後は、権利擁護機関や相談機関などの名称と電話番号を紹介することが望まれます。 	


評価領域Ⅱ サービスの実施内容


評価分類Ⅱ－1 保育内容【遊び】	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">• 手作りのバック、エプロン、キッチンセット、食べ物やブロック、パズル、カードゲーム、粘土等が用意され、子どもたちが自由におもちゃを取り出して遊べるようになっています。また、クレヨン、色鉛筆、はさみ、糊、紙、折り紙、新聞紙、廃材、粘土等、教材も自由に取り出せるようになっており、また、棚にははっきりわかるようにおもちゃや教材の写真や名称がつけてあり、片づけやすいように工夫されています。幼児クラスは個人の自由画帳を持っています。• ままごとや絵本棚の前にはマットが敷いてあったり、小さなテーブルが置いてある等、コーナーが作っており、子どもたちが落ち着いて遊べる環境となっています。• 保育士は子どもたちの自由な発想を受け止め、集団活動に取り入れています。子どもたちがたくさん食べ物を制作したので、他クラスを呼んでお店屋さんごっこに発展したり、絵本から全員でごっこ遊びに発展したりしています。• 幼児クラスは園庭で枝豆やオクラの栽培をしていて、収穫した野菜を給食に出してもらいました。園ではカタツムリやカブトムシを飼育していて、絵を描いたりしています。飼っていたカナヘビが死んだときにはお墓を作る等保育活動に活かしています。• 子どもたちは散歩に出かけ、地域の人たちと日常的に挨拶したり、買い物のときに店の人と会話をしたり、郵便局や消防署を訪問するなど交流をしています。• 園の近くは自然豊かで、恩田川に沿って畑や遊歩道があり、調理職員からパン屑をもらって鴨や野鳥にあげたり、ドングリや木の枝、落ち葉を拾って制作に使ったり、子どもたちが積極的に自然に触れる機会を設けています。• 朝は0歳児から5歳児まで合同で過ごしています。夕方も乳児クラスと幼児クラスに分かれて異年齢で過ごしています。各クラスに分かれる際には、0歳児や1歳児が幼児クラスの子どもたちに手を振ったり、ハイタッチで送りだしています。朝夕の時間以外でも一緒に散歩に行ったり、ゲームをしたりして一緒に過ごす機会があり、年上の子どもたちは年下の子どもたちに優しく接しています。• 屋外に出るときにはネックカバーのある帽子を着用し、希望があれば虫よけ剤をつける等対策をしています。また、プールの上にはシェードを張り、紫外線予防をすると同時にネックカバーのある帽子も着用し、保護者が希望する子どもはラッシュガードやTシャツを着て水遊びをしています。• 縄跳び、フープ、ボール等はいつでも自分で取って、使うことができるように手の届くところに置いてあります。また室内で鉄棒や跳び箱、マットを使った運動環境を作ることができます。観察日は雨でしたが、幼児クラスは保育室の仕切りを開け広くしてドッジボール大会をしていました。	


評価分類Ⅱ－１ 保育内容〔生活〕	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育士は楽しく食べることを第一に考え、体調や好みも考慮して、適量を配膳しています。また、子どもたちの食べたい気持ちや意欲、一人一人のペースを大事に考え、援助しています。 ・子どもたちが栽培した野菜を給食に使用したり、食育で蒸したかぼちゃをつぶしてモンブランのようにカップケーキの上に絞りだして食べたり、5歳児は当番活動で配膳をする等、食事やその過程に関心を持つようにしています。 ・栄養士は旬の食材を使って季節感のあるメニューにし、野菜などを型で抜いたり、食欲がわくように盛り付けにも工夫しています。また、月に一度世界の料理や郷土料理を提供する日があり、調理室の前の世界地図を掲示して料理を紹介しています。5歳児がその国のことを調べて壁新聞を制作する等、保育活動につなげています。また、保護者とも味付け等について会話をする機会がつけられています。 ・安全性を考慮して食材は国産のものを地域の商店から購入しています。また、子どもの成長・発達に合わせた大きさの磁器食器や汁椀、スプーン、フォーク、箸を使用しています。 ・栄養士は子どもの好き嫌いについて、毎日の残食状況や担任からの報告で把握し、また実際に子どもたちが食べているところを見たり、話を聞いて、味付けや切り方、調理方法を工夫しています。 ・給食のサンプルは玄関に展示してあります。子どもたちに人気だったメニューのレシピは玄関に置いて、保護者が自由に持ち帰れるようにしています。また、保護者から要望があれば、その都度レシピを渡しています。誕生会に保護者が参加した際には、給食を試食することができ、味付け等、園が配慮していることについて知らせる機会としています。 ・保育士は午睡の前に絵本を読んだり、背中をさすったり、子守唄を歌うなどしています。また、カーテンを引いて、部屋を程よい暗さにし、オルゴール曲を静かに流す等、心地よい眠りにつけるように配慮しています。 ・トイレトレーニングは保護者とも連絡を取りあいながら、一人一人の排泄のリズムを大切に考え、子どもの様子をみながらトイレに誘うなどしています。 	

評価分類Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 〔健康管理〕	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康管理に関するマニュアル、感染症への対応マニュアルがあります。 ・毎朝、登園時には保護者が検温しており、保育士は子どもの様子をよく見て体調等を保護者にも確認しています。また、園での様子や気づいたことは降園時に職員が保護者に伝えています。 ・3歳児から食後の歯磨きをし、保育士が仕上げ磨きをしています。大きな歯の模型を用いて磨き方の指導をしています。平成29年度は歯科健診のあとに歯科衛生士の指導を受けることを予定しています。 ・年に2回の健康診断、1回の歯科健診を行い、その結果は児童健康表に記録しています。また、健康診断、歯科健診の結果は書面で保護者に伝え、結果について心配なことがある場合は相談にのっています。 ・入園のしおりや入園説明会で、感染症の一覧、対応、登園許可書について保護者に説明しています。また、ほけんだよりが年に4回発行され、その時期に流行る感染症やその予防、虫刺されや熱中症などについて、情報提供をしています。 ・感染症が発生した場合は、玄関に病名、人数、症状等を掲示し、保護者に情報提供しています。 ・感染症に関する最新情報は運営会社からの情報を受けています。そのほかにも緑福祉保健センターで嘔吐処理等の最新の対応等の研修を受け、園内研修で実施、職員間で共有しています。 	


評価分類Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理 【衛生管理】	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • 衛生管理に関するマニュアルがあります。 • マニュアルの内容を共有するために嘔吐処理方法等について園内研修をおこない、職員会議で読み合わせをしています。 • マニュアルに基づき、トイレ、保育室、調理室等は清掃がおこなわれ、園内は清潔、適切な状態が保たれています。 	


評価分類Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理 【安全管理】	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • 安全管理に関するマニュアルがあり、マニュアルは園内外における保育中のケガ、事故、火災、地震等に対応しており、全職員に周知されています。 • 緑区こども家庭支援課、緑消防署長津田消防出張所、緑警察署長津田駅前派出所、運営会社等への連絡体制が確立されています。事務室や園庭の掲示スペースには事故発生フロー、連絡先一覧表が掲示されています。 • 職員はプールの始まる時期に、毎年緑消防署長津田消防出張所に出向き、救急救命法の講習を受け、心肺蘇生法などを学んでいます。 • 避難訓練の年間計画表があり、毎月1回、地震や火災、不審者対応等の訓練をおこなっています。年に一度は地域の避難場所まで行き、保護者の引き取り訓練もおこなっています。災害時に保護者には「災害用ブロードバンド伝言版」「まち comi メール」を用いて知らせています。 • 子どものケガ等の状況はヒヤリハット、インシデント、アクシデントに記録し、運営会社に報告しています。毎月、運営会社で系列園全園の報告を集約して各園にフィードバックしており、全職員で共有し、再発防止の意識を高めています。 • 玄関扉はセキュリティカードで開錠するようになっています。 • 不審者の情報は緑区こども家庭支援課のほか、自治会や近隣の方から得られるネットワークができています。 • 子どものケガについては、必ず保護者に状況を説明し、記録をしていますが、保護者アンケートの結果を踏まえ、伝え方についてのさらなる検討、工夫をすることが望まれます。 	

評価分類Ⅱ－3 人権の尊重	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • 保育士は子どもたちに威圧的な態度を取ったり、無視することはありません。保育士は子どもの目線に合わせて話をしたり、聞いています。言葉でうまく伝えられない子どもには態度や表情から子どもの気持ちを汲み取っています。保育中に気になる対応が見られたときには保育士同士で注意をし合ったり、職員会議等で話し合ったりする体制があります。 • 保育士は子ども的人格を辱めたり、自尊心を傷つけるようなことはありません。子ども一人一人の気持ちを尊重して日々の保育をしています。運営会社によるコンプライアンス試験があり、各自が振り返り、職員全員で話し合いをおこない、人権について共通の理解をしています。 • 必要に応じて、相談室や廊下など子どもに威圧感を与えず、一対一で話せる場所があります。 • 個人情報の取り扱いについては入園のしおりに記載し、入園説明会で保護者に説明して、了解を得ています。ホームページやブログの写真掲載についても保護者の確認を取っています。 • 友達や保育士の視線を気にせず過ごす場所づくりとして、衝立やロールスクリーン等の使用や家具の配置等の工夫が望まれます。 • 遊びや行事の役割、持ち物、服装や制作物等性別による区別はしていませんが、4、5歳児クラスの着替えを入れる箱が男女別になっている等、意識しないところでの性差による固定観念があるのではないかと考えられます。職員間で気づき合える仕組みをつくることが期待されます。 	


評価分類Ⅱ－4 保護者との交流・連携	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> • 入園説明会や懇談会で保育の基本方針を保護者に説明する機会を設けています。保育理念や方針は玄関の目に着く場所に掲示し、しおりやパンフレットにも明記されています。また、毎月、発行される園だよりやクラスだよりでも、保育の内容などが記載され、保育方針が理解されるように配慮しています。 • 年に2回、6月と2月に個人面談をおこなっています。また、希望があればいつでも個人面談を受けつけています。 • 保護者懇談会は年に2回、年度初めと終わりに開催し、クラス全体の様子等を保護者に伝えています。 • ある一定の期間を設け、あらかじめ活動予定を周知して保護者が希望する日に乳児は保育参観、幼児は保育参加ができるようにしています。 • 保護者からの相談は事務室や相談室を使って、人に内容を聞かれず相談できるように配慮しています。また、適切に対応できるように、園長や主任、場合によっては栄養士等も同席しておこなっています。 • その日の活動の様子を写真やイラストを用いるなどして、保育室前に掲示したり、ブログにアップして、日々の保育の様子を伝えています。 • 運営委員会は年に2回開催されており、各クラスから1名の保護者代表が参加し、コミュニケーションを図っています。 	


評価領域Ⅲ 地域支援機能


評価分類Ⅲ－1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">•園長が長津田地域ケアプラザや緑福祉保健センターでおこなわれる要保護児童対策地域協議会等に出席して、地域の課題を知り、職員会議で報告をしています。•地域の子育てニーズについて、入園希望者の見学時の相談をもとに職員会議等で話し合っています。•一時保育はおこなっていますが、定期的な育児相談日や園庭開放はまだ設定されていません。今後、実施することを検討しています。•今後は栄養士や保育士の専門性を活かした子育てや保育に関する講習、研修会等子育て支援サービスを地域に提供することが期待されます。	

評価分類Ⅲ－2 保育所の専門性を活かした相談機能	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none">•相談内容に応じて必要な関係機関として、横浜市北部地域療育センターや緑区こども家庭支援課等はリスト化されており、職員で共有しています。また、園長が主に担当して、日常的に連携をとっています。•今後は定期的に日程を決めて、育児相談日や園庭開放を設定したり、子育てのヒントとなる給食だよりやほげんだより等、園の情報を掲示板や自治会の回覧板等で地域に情報提供していくことが期待されます。	

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類Ⅳ－1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> ・長津田地域ケアプラザでおこなわれる敬老の日の催しに、4、5歳児の子どもたちが合奏で参加したり、自治会のお祭りに参加する等、交流を図っています。 ・地域の中学生や高校生の職業体験を積極的に受け入れています。 ・散歩等で日常的に地域の人と接しています。商店街に食育で使う食材の買い物は、2歳児からおこなっています。また、勤労感謝の日に合わせて、給食の食材を納入している店舗や消防署にを訪問し、子どもたちの作品を渡して、感謝の気持ちを伝えています。また、近隣の店舗より七夕の笹をもらう等、積極的に交流しています。 ・運営会社の系列園と園庭で遊ぶ等の交流のほか、長津田地域の保育園との5歳児交流や幼保小連絡会で交流しています。 ・今後は、地域に向けた施設開放や備品等の貸し出しをおこなうことが期待されます。 	

評価分類Ⅳ－2 サービス内容等に関する情報提供	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットや入園のしおり、ホームページ等に保育理念や方針、サービスの内容、職員体制など必要な情報を掲載し情報を提供しています。 ・利用希望者には見学ができることをホームページや電話の対応で案内しています。 ・園の見学は曜日や時間等、見学者の都合に合わせて対応しており、園の基本方針や利用条件・サービス内容等について、入園のしおりを用いて、主任が担当し説明しています。 	

評価分類Ⅳ－3 ボランティア・実習の受け入れ	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア・実習生の受け入れのためのマニュアルがあります。オリエンテーションで園の方針や配慮することを説明しています。 ・ボランティア・実習生の受け入れにあたり、保護者には園だよりや掲示物を用いて基本的な考え方や方針が理解されるように説明しています。 ・看護師を目指している高校生の受け入れ等、継続的に中学校・高等学校の職業体験の受け入れをおこなっています。 ・実習生は担当保育士と毎日振り返りをおこなっています。また、実習の最終日には園長、クラス担任と反省会を持ち、意見交換をしています。 	


評価領域V 人材育成・援助技術の向上


評価分類V-1 職員の人材育成	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> ・保育理念に沿って、より良い保育サービスの提供ができるよう、人材育成計画が策定されています。職員は資質向上に向けた目標を年度初めに定め、達成に向けたプロセスを記録し、自己評価を年2回実施し、達成度の評価がおこなわれ、園長が面接して確認しています。 ・主任が研修担当者となり、職員の受講履歴や要望を基に本人と相談して、研修計画を作成しています。横浜市こども青少年局主催や緑福祉保健センター、緑区こども家庭支援課主催、運営会社主催の研修などに積極的に参加しています。昨年度は延べ64回の外部研修に参加しています。研修に参加した職員は研修報告書を提出するとともにスタッフ会議でも報告しています。 ・非常勤職員にも業務マニュアルを配布して説明しています。非常勤職員も職員と同様に内部研修や外部研修に参加できるようにしています。参加できないときは、必要事項を伝言したり、報告書を回覧したりして内容が把握できるように配慮しています。 	


評価分類V-2 職員の技術の向上	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画を見直し、自己評価をおこない、運営会社の「評価表」による自己評価など、職員一人一人が自己評価を計画的におこなう仕組みを持っています。今後はさらに運営会社が策定している「保育所自己評価表」を活用して園としての自己評価を実施することが望めます。 ・運営会社園長会で報告された事例などを基に園内研修を実施し、インシデント・ヒヤリハットを改良したり、環境構成などの勉強会から間仕切りの工夫をしたりとサービスの向上を目指した会議・勉強会が開かれています。 ・保育士等一人一人が自己評価をし、文書化できるように、書式が定型化されています。自己評価は、目標に対し、計画で意図した保育のねらいが達成されたか記入しています。保育士等一人一人が保育の自己評価をおこない、次の月間指導計画や年間指導計画などに振り返りの課題を反映させています。 ・保育士等の自己評価はスタッフ会議や乳児会議、幼児会議などで報告し、意見交換をしています。 	

評価分類V-3 職員のモチベーションの維持	評価結果
<ul style="list-style-type: none"> ・運営会社は職種別、職階別にそれぞれの期待する役割と能力・技術などについて文書化しています。 ・保育活動や保護者対応など、職員に権限移譲をして自信と責任を持たせるようにしています。結果責任は園長にあるとして、報告・相談するよう伝えていきます。 ・スタッフ会議などで職員が業務改善の意見を出して検討しています。シーツ交換方法や早番勤務の業務内容見直し等職員の意見により改善されています。 ・園長は年2回、職員と面接をして満足度や要望を聞いています。また、いつでも面談に応じ相談にのるなど職員の要望を把握するよう努めています。 	

評価領域VI 経営管理

評価分類VI-1 経営における社会的責任	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> ・運営会社が定めたコンプライアンスに法令遵守などが明文化され、職員にはコンプライアンス試験を実施し、周知を図っています。また、他施設での不正、不適切な事案を題材に、スタッフ会議で取り上げ、それらの行為をおこなわないよう職員に周知、啓発をしています。 ・「財務情報等の公表について」を事務室前に置いて、園の運営状況を閲覧できるようにしています。 ・ゴミの分別、資源回収などの取組を実施しています。牛乳パックでベンチを作ったり、空き箱段ボールを利用して衝立や間仕切り用柵を作るなどゴミの減量化・リサイクルの取組をおこなっています。また、こまめに電気やエアコンを消すなど省エネルギーに取り組んでいます。 ・環境配慮への取組は、実施されていますが、園としての方針は明文化するまでには至っていません。 	

評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> ・職員に配布している園のしおりや保育課程、事業計画書等に理念や基本方針、保育目標が掲載されていて、園内にも掲示しています。職員は入職すると「新人研修」で理念等について研修を受けます。また、日常的にスタッフ会議等で園長や主任が理解を促すための説明をしています。 ・園長は年2回開催される運営委員会で各クラスの保護者代表と意見交換しています。重要な意思決定のほか、日常の保育についても保護者の意見を聞くようにしています。 ・運営会社で主任クラスを計画的に育成するプログラムが策定されています。主任はフリーの立場で保育の現場に入り、職員個々の業務状況を把握しています。主任は職員との日常会話や休憩時に職員の精神的、肉体的な状況把握に努め、相談にのっています。また、職員の個々の事情に配慮し、シフト調整をおこなっています。 	

評価分類VI-3 効率的な運営	評価結果
	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営に影響のある情報は運営会社が収集・分析をしています。結果については全体会（運営会社園長会）で話し合っています。園長は本社の全体会で話し合われた情報を職員間で共有するために、スタッフ会議等で報告し、職員の意見を聞いています。 ・運営会社で中長期的な事業の計画を策定しています。また、次代の組織運営に備え、新たな経営手法を取り入れるための会議や勉強会を実施して、検討しています。 ・次代の園長、主任を見据えた本社内研修を実施して、計画的に後継者を育成しています。 	

◆利用者家族アンケート分析◆

【実施概要】

■実施期間：平成 28 年 9 月 12 日～9 月 26 日

■実施方法：利用者全員の家族に対し、保育園から直接手渡して配付、評価機関に郵送で直接送付してもらった。

■回収率：配付 50 件、回収 33 件、回収率 66.0%

★文中の「満足度」は「満足」と「どちらかといえば満足」の回答を合計した結果です。
「不満足」は「不満」と「どちらかといえば不満」の回答を合計した結果です。

【結果の特徴】

- 園の保育目標や保育方針について「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の割合は 87.9% となっています。「よく知っている」「まあ知っている」の中で「賛同できる」(62.1%)「まあ賛同できる」(37.9%) を合わせて 100%です。
- 項目ごとの全設問中、満足度が 90%を超える項目は 27 問です。また、「満足」が過半数を超える項目は 28 問です。満足度の高い項目は「保育園での 1 日の過ごし方の説明」「給食の献立内容」の 100%、「園の目標や方針についての説明」「クラスの活動や遊び」「子どもが戸外遊びを十分しているか」「園のおもちゃや教材」「遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分持てているか」「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか」「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供」「あなたのお子さんが大切にされているか」「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」の 97.0%です。
- 比較的不満足度の高い項目は、「意見や要望への対応」の 15.2%、「保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応」の 15.1%、「年間の保育や行事についての説明」「開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応」の 12.1%です。
- 総合的な満足度は「満足」が 75.8%、「どちらかといえば満足」21.2%、合わせて 97.3%と高くなっています。
- 自由意見欄には「子どもも毎日嬉しそうに登園してくれ、満足している」「園全体で子どもを良くみている」「先生方の熱心さが伝わり、子どもも楽しく園生活を送っている」「送り迎えに先生からの話を聞くのが毎日楽しみ」「先生たちが明るく仕事から帰って来た時に安心する」など感謝の言葉が複数寄せられています。一方少数ですが、「伝え漏れがある」「具体的な案内が実際に配られる」「『検討する』と回答のあるものの、その後の対応がない」などの意見が寄せられています。

太陽の子 長津田北保育園 利用者家族アンケート集計結果

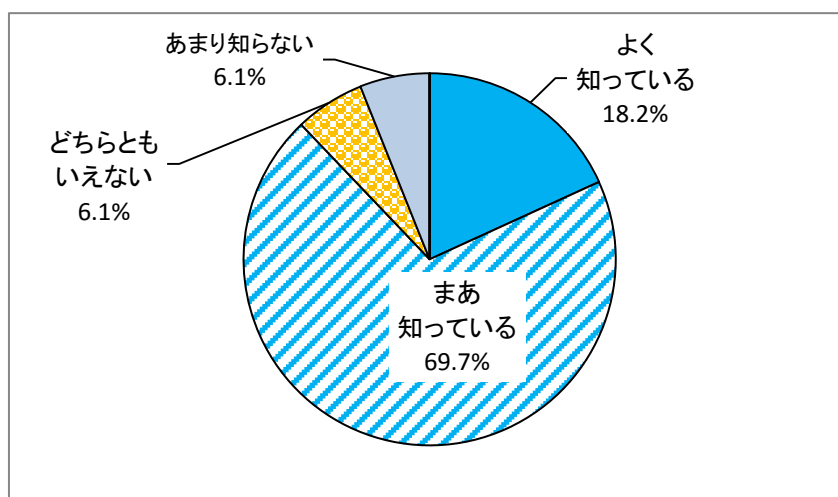
実施期間	平成28年9月12日～9月26日
調査対象	利用者家族
配布世帯数	50件
有効回答数	33件
回収率	66.0%

お子さんのクラス	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答	(人)
	4	9	3	9	5	2	1	

※2人以上在籍の場合、下のお子さんのクラスで回答

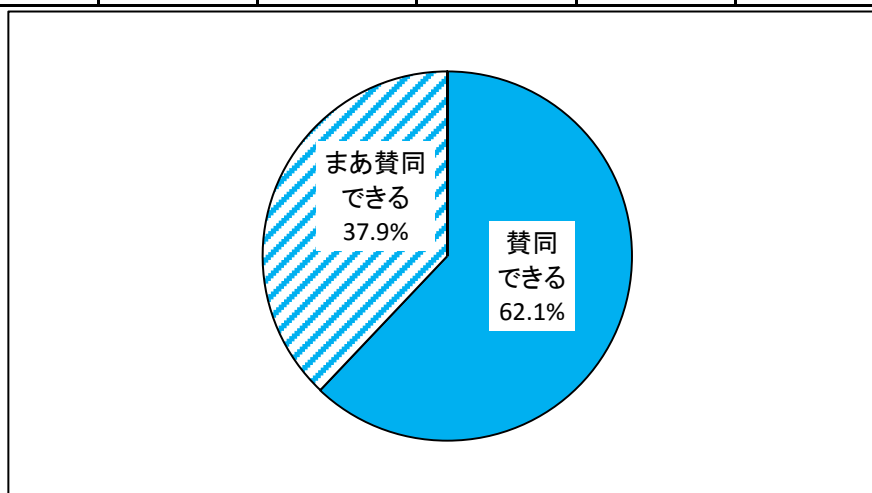
問1 保育園の基本理念や基本方針について

	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	(%)
あなたは、この園の保育目標や保育方針をご存じですか	18.2	69.7	6.1	6.1	0.0	0.0	



1 よく知っている 2 まあ知っている とお答えの方へ

付問1	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	(%)
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	62.1	37.9	0.0	0.0	0.0	0.0	



問2 入園する時の状況について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
見学の受け入れについては	57.6	9.0	0.0	0.0	30.3	3.0	
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	51.5	27.3	3.0	0.0	18.2	0.0	
園の目標や方針についての説明には	48.5	48.5	0.0	0.0	3.0	0.0	
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	63.6	30.3	3.0	0.0	3.0	0.0	
保育園での1日の過ごし方についての説明には	60.6	39.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
費用やきまりに関する説明については	60.6	30.3	3.0	6.1	0.0	0.0	

問3 保育園に関する年間計画について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
年間の保育や行事についての説明には	54.5	33.3	12.1	0.0	0.0	0.0	
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	36.4	54.5	6.1	0.0	3.0	0.0	

問4 日常の保育内容について「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
クラスの活動や遊びについては	66.7	30.3	0.0	0.0	3.0	0.0	
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	78.8	18.2	3.0	0.0	0.0	0.0	
園のおもちゃや教材については	63.6	33.3	3.0	0.0	0.0	0.0	
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	60.6	33.3	3.0	0.0	3.0	0.0	
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	63.6	33.3	0.0	0.0	0.0	3.0	
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	60.6	33.3	3.0	0.0	0.0	3.0	

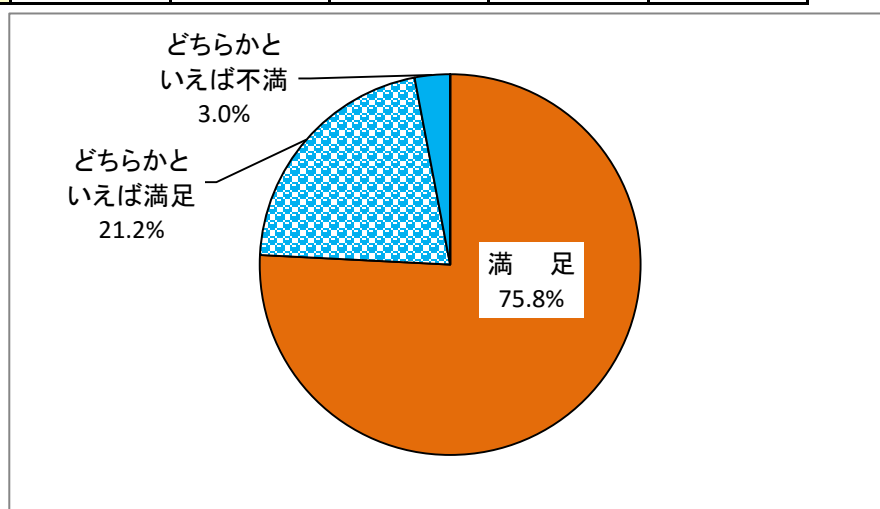
「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
給食の献立内容については	78.8	21.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	69.7	24.2	3.0	0.0	3.0	0.0	
基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについては	66.7	27.3	3.0	0.0	3.0	0.0	
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	60.6	24.2	6.1	3.0	3.0	3.0	
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	51.5	30.3	0.0	3.0	15.2	0.0	
お子さんの体調への気配りについては	69.7	18.2	3.0	6.1	0.0	3.0	
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	48.5	30.3	12.1	3.0	6.1	0.0	

問5 保育園の快適さや安全対策などについて	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
施設設備については	51.5	42.4	6.1	0.0	0.0	0.0	
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	57.6	39.4	0.0	0.0	0.0	3.0	
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	39.4	54.5	3.0	0.0	0.0	3.0	
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	45.5	51.5	3.0	0.0	0.0	0.0	

問6 園と保護者との連携・交流について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	54.5	39.4	3.0	0.0	0.0	3.0	
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	72.8	21.2	3.0	0.0	0.0	3.0	
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	51.5	42.4	6.1	0.0	0.0	0.0	
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	45.5	48.5	0.0	0.0	3.0	3.0	
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	54.5	42.4	0.0	0.0	0.0	3.0	
保護者からの相談事への対応には	45.5	45.5	3.0	0.0	3.0	3.0	
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	48.5	33.3	3.0	9.1	3.0	3.0	

問7 職員の対応について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	(%)
あなたのお子さんが大切にされているかについては	78.8	18.2	3.0	0.0	0.0	0.0	
あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるかについては	78.8	18.2	0.0	0.0	3.0	0.0	
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	54.5	27.2	0.0	0.0	15.1	3.0	
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	78.8	15.2	3.0	3.0	0.0	0.0	
意見や要望への対応については	57.6	27.3	6.1	9.1	0.0	0.0	

問8 保育園の総合的評価	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	(%)
総合満足度は	75.8	21.2	3.0	0.0	0.0	



◆利用者本人調査◆

【実施概要】

- 実施日時：平成28年11月9日、11月11日
- 実施方法：午前中の保育観察時間を中心に、各クラスの観察を実施、また幼児とは会話の中で適宜聞き取り調査を実施。

●0歳児クラス

朝のおやつを食べ終わった後、エプロンや口拭きタオルは「クルクルしてね」と言われ、小さな手で上手にクルクル丸めています。それを保育士が差し出した自分の持ち帰り用袋にポトンと入れて、遊びのスペースに移動します。保育士の膝に座って絵本を読んでもらったり、好きなおもちゃを出してきて遊んだり、よちよち歩いてお友だちの顔をのぞきこんだりしています。ゆっくり食べていた子どもも揃ったので、朝の会が始まります。名前を呼ばれて「はい」と手を上げ、保育士とタッチします。音楽に合わせて体操をします。動きをよく覚えていて上手に片足を上げたり、回ったり、敬礼したり、楽しそうです。「きょうはお庭で遊びましょう。」オムツを換えてもらい、ジャンパーを着て、靴下を履きます。自分で一生懸命、袖に手を入れようとしたり、履こうとしたりしています。保育士は「自分でがんばっているの？偉いね～」「ちょっとお手伝いしようか」など声をかけ、援助しています。

園庭でたっぷり遊んだ後は給食です。子どもたちは手づかみや自分でスプーンを持って食べています。保育士は汁物の援助をしたり、食べやすいように寄せたり、子どもたちのペースで食べられるようにします。“もっとちょうだい”と言うように手を伸ばす子どもには「好きなのね」「おいしいね～」と声をかけたり、なかなか進まない子どもには「モグモグ」とそばで口を動かして見せたりしています。どの子どもも残すことなくしっかり食べました。

●1歳児クラス

「雨でお外に出られないので、今日は新聞紙で遊びます」保育士は新聞紙を食べたり、上を走ったりしないように話してから、新聞紙を渡しています。保育士は目や口の部分に穴をあけお面のようにして見せたり、ねじって鉢巻のようにして頭に巻いてみたり、小さくちぎった新聞紙を集めて吹雪のように上からかけたり、遊びをリードしています。どんどんちぎる子、マフラーの様に首に巻く子、スカートの様に腰に巻く子、おにぎりのようにぎゅっと小さく固める子、子どもたちはみんなニコニコしながら好きなように新聞紙で遊んでいます。片づける時間になりました。一生懸命に片づける子もいれば、新聞紙をかぶって寝ていたり、違う箱に入れたり、と様々ですが、保育士は「〇〇くん、お片付け上手ね」「〇〇ちゃん、これもお願いします」などみんなで片づけるように声をかけています。片づけが終わればコーナーに集まり、ペープサートを見たり、絵本を読んでもらい、落ち着きます。その間に別の保育士がマットでトンネルを作り、牛乳パックで作ったベンチを1本橋のように並べて、今度はサーキット遊びです。ハイハイでトンネルをくぐったり、ジャンプしておりたり、いろいろな動きを楽しんでいました。

ベンチの上で友達を押してしまった子どもに保育士は視線を合わせて「〇〇ちゃんになんて言うの？」と促すと友達の顔を見て、「ごめんね」と言い、「いいよ」というやり取りができました。

●2歳児クラス

園庭で遊びます。散歩で捕まえてきたカマキリを園庭のすみの畑に逃がすことになりました。みんな集まってきて興味津々で見えています。「バイバイ」「元気でね」など声を掛ける子もいます。手の届くところにスコップや縄が掛けてあり、また、ままごとのカップや皿、砂遊び用のダンプカーなど車はかごに入れて置いてあり、どれもすぐに取り出すことができます。子どもたちが漕いで乗る車もあります。園庭には砂がたっぷりあるので、いたるところでままごとが始まっています。保育士は「どうぞ召し上がれ」と言われ「いただきます。美味しいですね」など答えています。縄を引っ張ってずっと歩いている子どもがいます。保育士が「捕まえた！」と先を持ったら、「いや〜！」と怒りました。「嫌だったんだね。ごめんね」と縄を放すとまた引っ張って歩いて行きました。築山の上では女の子が二人、嬉しそうに顔を見合わせ歌いながらダンスをしています。舞台に見立てているようです。それぞれが好きな遊びを楽しんでいます。

保育士が給食の準備を始め、テーブルを拭くと、みんなのエプロンをそれぞれの席に配ってお手伝いをする子どもがいます。給食の歌を歌い「いただきます」をしたあとは、どの子どももスプーン、フォークを上手に使い食べています。おしゃべりはしていますが、静かです。進みの悪くなった子どもに保育士は「お腹いっぱい？もう食べられない感じ？」など聞いたり、「わあ、きれいに食べたね〜。集まれも上手にできたね」など声をかけています。食べ終わった子どもから食器を自分で持って行き、ケースに汁椀、皿など種類別に重ねて置いています。口拭きタオルとエプロンを一緒にまとめて汚れ物入れにしまいに行き、口をゆすぎます。

●3歳児クラス

朝の合同クラスから帰ってくると自分たちで朝の支度をします。コップ、歯ブラシを出し、手拭きタオルを掛け、ハンカチはポケットに入れ、着替えはゴムでくくって箱に入れ、汚れ物を持ち帰るビニール袋をロッカーのフックに掛けます。すぐに用意が終わる子もいますが、おしゃべりをしたり、何か気になって進まない子もいます。準備が終わったら好きな席に座ります。座ろうと思っていた席に先に座られてしまい、泣いている子がいます。保育士はどこかの席に座ってもいいことを伝え、準備を促し、少し手伝います。泣いていた子どもも支度を終え、座りました。保育士に「自分で（席を）見つけたの、えらかったね」と頭をなげてもらい涙の残る顔が笑顔になりました。

2、3日前に色画用紙を切って幹と葉が茂る部分を貼った絵に拾ってきた落ち葉を貼ります。落ち葉は乾燥してパリパリしているので、そっと持ち、そっと糊をつけ、そっと貼るように保育士は説明します。保育士が葉の部分にあたる上の部分に貼って見せたら、落ちて地面の部分にくっつきました。「違う〜」と言う子どもに「えっ、でも枯れたら落ち葉になって落ちるよ」という子どももいます。保育士は上の部分に貼り直しながら、「落ち葉もあるから下に貼ってもいいね」と言い、それぞれの画用紙を渡します。テーブルにはビニールクロスを敷き、子どもたちは袖をめくり、そっと糊をつけ、好きな部分に葉をつけていきました。降園の時には保育室に飾られていました。

●4・5歳児クラス

元気な声で朝の歌を歌います。保育士が「今日は寒いから何の動物がいいかな？」と聞くと「白くま！」の声が上がりました。名前を呼ばれたら、子どもたちは白くまになって吠えたり、大きな声を出したり、かわいい声を出したり、それぞれが工夫して返事をします。

「今日は柳下公園に散歩に行きます」トイレに行ったり、靴下、帽子、ジャンパーなどの身支度はとてもスムーズです。手をつないで出発しますが、恩田川遊歩道では手を放し、自由に歩きます。時折、「スキップ」「カニさん歩き」「お魚」など保育士の声かけがあり、子どもたちは楽しそうにスキップや横歩き、泳ぐ真似をしています。畑で作業している人に挨拶をすると手を振ってこたえてもらいました。くっつき虫をみつけたら、みんなで触ってみたり、洋服につけたり投げたりします。公園に着いたら、身体を温めるためにマラソンを2周してから遊びます。鬼ごっこをしたり、順番に譲り合って遊具で遊んでいます。両方から登れる山型になっているすべり台の上ではたくさんの子どもで押しくらまんじゅうをしているようです。声を上げて楽しそうに笑っています。黄色に色づいた葉を拾い集め、木の実も使って地面に顔を作っている子どももいます。どの子どもも自由に好きな遊びを楽しんでいます。

「集まれ」の声にすぐに集り、お茶を飲んで帰ります。保育士が「きょうは木枯らし1号、寒い風がふくんだった」と話すと「じゃあ、明日は2号？」と聞く子もいます。「たくさん遊んだからお腹が減った～」などと会話しながら、行きと違う道を通って帰りました。

5歳児の4人は散歩から帰るとトイレ、手洗いをすませ、さっと給食用白帽子、白衣を着てマスクをつけます。テーブルの上を拭き、歯ブラシをセットします。円形の当番表を回して、主菜・副菜・汁物・デザート自分の担当を確認して配膳台に並びます。主食は保育士がよそいますが、主菜・副菜・汁物は当番がよそい、デザートもとりわけ、前に並べていきます。4歳児の子どもたちは手洗いのあと、自分の口拭きタオルを濡らしてテーブルの上のかごに入れておきます。トレイを持ち順番に自分で給食を載せてテーブルへ行き、配膳します。最後に給食当番も配膳し、白衣を洗濯ネットに入れ、席に着きます。当番が前に出て、食品の三原色の表を示し、「体を動かす栄養はご飯」など、献立の食品を発表し、給食の歌を歌って「いただきます」をします。身体をたくさん動かしたのでどの子どもも食欲旺盛です。テーブルごとに楽しそうにおしゃべりをしながら食べています。食べ終わった子どもから歯磨きは席でして、保育士に仕上げ磨きをしてもらいます。食後は午睡までの時間、絵本や図鑑を読んで静かに過ごします。

◆ 事業者コメント ◆

開園3年目の本年、第三者評価受審に当たり、進行中の保育内容を確認し、問題点を見直し、より良い保育をめざす為に、とても良い機会であると捕え、全スタッフで、心を合わせ、取り組みました。

園長、主任、栄養士、調理員、保育士の個人から、乳児、幼児の各グループへと自己評価し、話し合いを重ねました。その中で、現在の保育の良い点、課題が見いだされ、保育の見直しを行うことができました。
また、保護者の皆様からいただきましたお褒めの言葉やご意見は、スタッフの自信や意欲につながりました。

課題としては、地域解放・地域コミュニティへの働きかけを深める点、また、保育所としての自己評価をまとめる点があります。
太陽の子保育園のコンセプトは「つながり保育園」です。
保育園で健やかに育った子どもたちが、父となり、母となり、又戻ってくる保育園になれる様に、子どもたちの明るい声、笑顔で、地域を明るく出来る様、様々な機会を捕えて、地域とのつながりを深め、スタッフと研修、討議し、保育園の自己評価をまとめて参ります。

今後もスタッフ全員が、一人一人の子どもたちの心に寄り添い、発達を支援し、保育の反省、評価をしながら、より良い保育園をめざし、すすんで参ります。

最後になりましたが、お忙しい中、アンケートにご協力下さいました保護者の皆様を始め、評価に携わっていただいた皆様に深く感謝申し上げます。

長谷川キッズライフ株式会社
太陽の子長津田北保育園

福祉サービス第三者評価 評価機関

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 17 番地 金井ビル 201 号室

TEL : 045-228-9117 FAX : 045-228-9118

URL : www.yresearch-center.jp/ Email : top@yresearch-center.jp



かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第 26 号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第 17 号

川崎市福祉サービス第三者評価認証機関 第 14 号

横浜市指定管理者第三者評価機関 認定番号 25-01

東京都福祉サービス第三者評価認証評価機関 認証番号 機構15-232

全国社会福祉協議会社会的養護関係施設第三者評価機関 2510-002-02
